

②	重点目標	・保健指導の充実		P	
③	現 状	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらず、秋田県も例外ではない。変異ウィルスは若い世代での感染も広がっている。 ・生徒にはコロナ慣れの状況が見られる。			
④	具体的な目標	・新型コロナウイルス感染症への対策を、感染・警戒レベルを考慮しながら実施する。			
⑤	目標達成のための方策	・新型コロナウイルス感染症の状況や対策に関する職員間の情報共有 ・健康チェックの継続 ・感染予防・感染拡大予防のための基本的な対策の指導 ・生徒、保護者への情報提供と協力依頼			
⑥	具体的な取組状況	・教職員間の情報の共有と報告方法の整備 ・長期休み明け健康調査の実施／健康チェックシート（及び Forms）の作成と実施 ・教室等への手指消毒液・消毒用アルコールタオルの設置／清掃時用の消毒用ペーパータオルの設置と毎日の消毒（手すり等）／学年部と連携しての昇降口での登校時消毒指導、昼食時黙食巡回指導／特別活動部と連携しての各種行事での消毒や3密回避の指導／教育情報部と連携しての啓発ポスターの作製と掲示／校内放送での黙食及び換気の呼びかけ／保健美化委員会によるハンドソープの補充、学校祭でのマスク着用に関連した展示、CO ₂ 濃度計を活用した換気の実施 ・生徒保護者向け文書の配布及び学校HPへの掲載、保健だより配布			D
⑦	達 成 状 況	・マスク着用、手指消毒、健康チェック、黙食等の感染対策が概ね習慣化され、換気にも心がけている。			
⑧	自 己 評 価	（評価） A	（根拠） ・感染・警戒レベルに応じて考えられる取組を行った。	C	
↑ 評価基準 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない ↓ C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない					
⑨	学校関係者評価と意見	（評価） A	（意見） 2年に渡り感染者が確認されていないこと、消毒物品の設置や啓発ポスターの掲示等対策が取られマスクの着用も習慣化されていること、等を評価いただいた。	C	
⑩	自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	感染症対策には引き続き取り組んでいく。また、全身の健康にも深く関わる歯の健康に意識を向けさせ歯科受診率の向上を目指す。			A